

新村地区

令和5年度

推進交付金：550,000円

取組み1 松本大学との地域連携

新村地区 あたらしの郷協議会 地域振興部会

(1) 目的

松本大学との地域連携・交流

(2) 取組み

松本大学の「地域づくり考房ゆめ」との連携・交流をとおして大学と地域が共存するまちづくりを進めています。



(3) 今後の展開

松本大学との地域連携・交流を継続展開していく。

取組み2 保育園防災訓練の実施

新村地区 あたらしの郷協議会 安全安心部会

(1) 目的

安全安心なまちづくりの推進

(2) 取組み

松本大学と協働し保育園避難訓練を実施しました。大学生の誘導による松本大学グラウンドまでの避難訓練と、防災講座を実施。

防災士資格の取得を目指し防災活動論の講義を履修している大学生32名が、保育士の指示のもとそれぞれ2人程度の園児と手をつなぎ支援することで、スムーズに避難・誘導することができた。



(3) 今後の展開

避難経路の見直し検討

取組み3 地区(中学生)防災訓練の実施

新村地区 あたらしの郷協議会 安全安心部会

(1) 目的

安全安心なまちづくりの推進

(2) 取組み

8月30日(水)に「新村地区(中学生)防災訓練」を実施しました。コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い4年ぶりの実施。新村地区から高綱中学校に通学している1~3年生の生徒約50人が参加。1、2年生は、消防団第11分団の協力のもと、松本大学周辺の道路にある消火栓2か所を使って「放水訓練」を実施。3年生は、渚消防署の協力のもと「心肺蘇生法」の講習を新村公民館で受講。



(3) 今後の展開

中学校と連携協力し継続的な取り組みとしたい。

取組み4 避難所運営見直委員会

新村地区 あたらしの郷協議会 安全安心部会

(1) 目的

安全安心なまちづくりの推進

(2) 取組み

昨年度、市内35地区で初めて「新村地区防災計画」が安全安心部会を中心に発足した策定委員会により策定された。



その後、新たな課題として「避難所運営の見直し」について、松本大学地域防災科学研究所の木村所長・尻無浜副所長からアドバイスをいただきました。松本大学が東日本大震災の際、実際に避難所運営を支援する中で感じた課題である避難所運営委員会の組織の見直しや避難所運営マニュアルの見直しに関するものです。これを受け7月に避難所運営見直し委員会を発足し、9回の委員会を開催しました。避難所運営委員会のコンパクト化や避難所の町会ごとの区画割の案等の検討を進めている。

(3) 今後の展開

見直し後の避難所運営の周知及び防災訓練等の実施

取組み5 メンスサロン「パティオ・にいむら」

新村地区 あたらしの郷協議会 いきいき部会

(1) 目的

男性の居場所づくり、仲間づくり、孤独感の解消

(2) 取組み

外に出ることの少ない男性の居場所づくりに、お酒ではなく珈琲を飲みながら語る場としてメンズサロン「パティオ・にいむら」を開催している。



(3) 今後の展開

男性の居場所づくり事業では、福祉ひろばでの開催のみでなく、出張ふれあい健康教室に合わせて出張パティオの充実を図りたい。

取組み6 高齢者の生活課題について

「地域ケア会議」開催

新村地区 あたらしの郷協議会 いきいき部会

(1) 目的 災害時要支援者の安否確認

(2) 取組み

昨今の大規模災害を受け、2月16日(金)「新村地区防災計画と災害時要支援者の安否確認について」をテーマにあたらしの郷協議会安全安心部会長の古畑敏幸さんから、新村地区防災計画の概要と計画に謳われている発災時の「安全(安否)確認の流れ」やいざというときに支援が必要な人を組単位で支援するための「安塚町会安全確認分担表」について解説していただきました。その後、3グループに分かれ災害時の要支援者の安否確認について、現状や課題、今後の取組等について討議していただきました。



(3) 今後の展開

ささえ愛カードの活用や支えあいマップの作成等の取組み推進

取組み7 「フレイル予防講座」開催

新村地区 あたらしの郷協議会 いきいき部会・学びの友部会

(1)目的 高齢者の健康増進

(2)取組み

10月24日(火)に学びの友部会、いきいき部会と公民館共催による健康教室を開催。今回は、「体を鍛えてフレイル予防」と題して松本大学から人間健康学部スポーツ健康学科の河野史倫教授と山本薫准教授のお二人の先生をお呼びした。「今どうしたら私たちに必要な筋肉量を維持してフレイル予防ができるか」を理論と実技の両面から教えていただいた。



(3)今後の展開

引き続き松本大学と連携し高齢者の健康増進や学習意欲の向上を図る。

取組み8 「新村を語る会」開催

新村地区 あたらしの郷協議会 学びの友部会

(1)目的

文化財等の歴史に親しみながら、伝統と文化を学び世代間交流の場をつくる。

(2)取組み

「新村を語る会」を計9回開催し、地区に関する「話したいこと・聞いてみたいこと」というテーマで話し合を行った。



(3)今後の展開

地域学習テキストやまつもと文化遺産パンフレットを活用し、地域文化財への理解を深めるとともに、担い手づくりに繋げていく。

取組9 寺子屋の開催

新村地区 あたらしいの郷協議会 学びの友部会

(1) 目的

学びの場の提供と世代間交流

(2) 取組み

小学生の夏休み期間中に、夏休みの宿題や体験学習で時間を過ごす。

今年は参加者も36名と増え、子供たちにとって夏休み中の一つの学びの場として定着してきた。また、地域のJA女性部の皆さんによる「パッキングクッキング」の調理実習とサイエンスキャンプという教育支援団体による科学実験(超低温実験)教室が特別授業として行われた。



(3) 今後の展開

講師である地域住民や松本大学とも連携を図りながら、地域が子どもを育てる有意義な事業展開を図る。

取組10 寺子屋の開催

新村地区 あたらしいの郷協議会 学びの友部会

(1) 目的

ニュースポーツの普及に取り組み、地区住民の健康増進や相互交流の機会をつくる。

(2) 取組み

新村体育協会との共催で「第9回ニュースポーツ IN 新村(11月24日)」を開催した。

(3) 今後の展開

新村体育協会と連携を図りながら、ニュースポーツの普及に取り組む。



取組み11 地域の情報発信事業

新村地区 あたらしの郷協議会 広報委員会

(1)目的

協議会の取り組みや地域の情報を、幅広く発信

(2)取組み

毎月広報誌(あたらしの郷通信)を発行し、協議会の事業をタイムリーに周知した。

(3)今後の展開

毎月の広報誌(あたらしの郷通信)による情報の提供

